

No. 7

4月号

令和5年
2023・3・20



日立市視聴覚センター通信

みて、きいて、学びを楽しく

みきまた

編集・発行
日立市視聴覚センター
〒317-0073
日立市幸町1-21-1
電話：0294-24-5055
FAX：0294-24-5066

大煙突ベスト2

特集

倒壊から30年、サクラのマチへ

平成5年(1993)2月19日、地響きとともに3分の1を残して倒壊してから30年が経過しました。

大正3年(1914)、156mの高さで完成した大煙突は、**住民と企業が一体となって煙書を乗り越えたシンボルタワー**です。

1910年に、日立鉱山は植林事業をスタート。伊豆大島の三原山から噴煙の中でも生長する**オオシマザクラ**

の植樹が進められました。**ソメイヨシノ**が学校や社宅の近隣に、市街地あらゆる場所に桜が植えられることで、平和通りとかみね公園が「**日本さくら名所100選**」に選ばれ、日立市は桜の名所として賑わうようになりました。

この4月、コロナ禍で中断していた春の風物詩「日立さくらまつり」は、盛大に開催されます。

今回、「大煙突」オススメ作品ベスト2を紹介します。

公害問題は常に新しい。それは、**人類に背負わされた永遠の十字架**にも似ている。(中略)

煙害問題なしに鉱山の歴史は語れない。大正3年12月、当時、世界最大と言われた煙突を、日立鉱山が独自に完成して、此の問題に終止符を打つことができたのであるが、これは**凡そ10年**に**互る**歲月、**地域住民と共に**苦しみ、悩み、そして**自らの手**で解決し得た**貴重な経験**であった。富士山が、**ただ高いのではないと同様**、日立鉱山の煙突も、**ただ高いだけではないのである。**



大煙突賛歌
日立鉱山
2004年 55分

元日立クリニック院長・櫻村博康氏が、ヘリによる空撮に挑戦するなど大煙突への熱い思いを込め制作した感動作。霧や大雪等の自然現象と重ね合わせた大煙突風景は絶景。全10章からなる力作



新日鉱グループ創業100周年記念事業
大煙突への旅
2005年 20分

父と子のやさしい語りで全体が進行。大煙突ができるまでの歴史的な背景やオオシマザクラの植樹などについて分かりやすく学べる創業100周年記念作品

「日立鉱山煙害問題普話」(関右馬允著、1963年)に寄せた久原房之助の巻頭言より



禁じられた遊び

1952年アカデミー賞名誉賞作品
ヴェネツィア国際映画祭 金獅子賞
公開：1952年

時間：87分 貸出番号：1201166

世界映画史に遺る不朽の名作で、戦争で孤児となった5歳のフランス人少女の運命を描いた感動作品。悲しげな少女の表情とナルシソ・イエパスによる哀愁に充ちた「愛のロマンス」のギター独奏は、70年経過後の今でも鮮烈な印象を与えます。

監督：ルネ・クレマン 原作：フランソワ・ボワイエ
脚本：ジャン・オーランシュ、ピエール・ポスト
音楽：ナルシソ・イエパス
出演者：
ブリジット・フォッセー、ジョルジュ・プージュリー、
シュザンヌ・クールタル、ジャック・マラン

今月の
オススメ
吉田

